

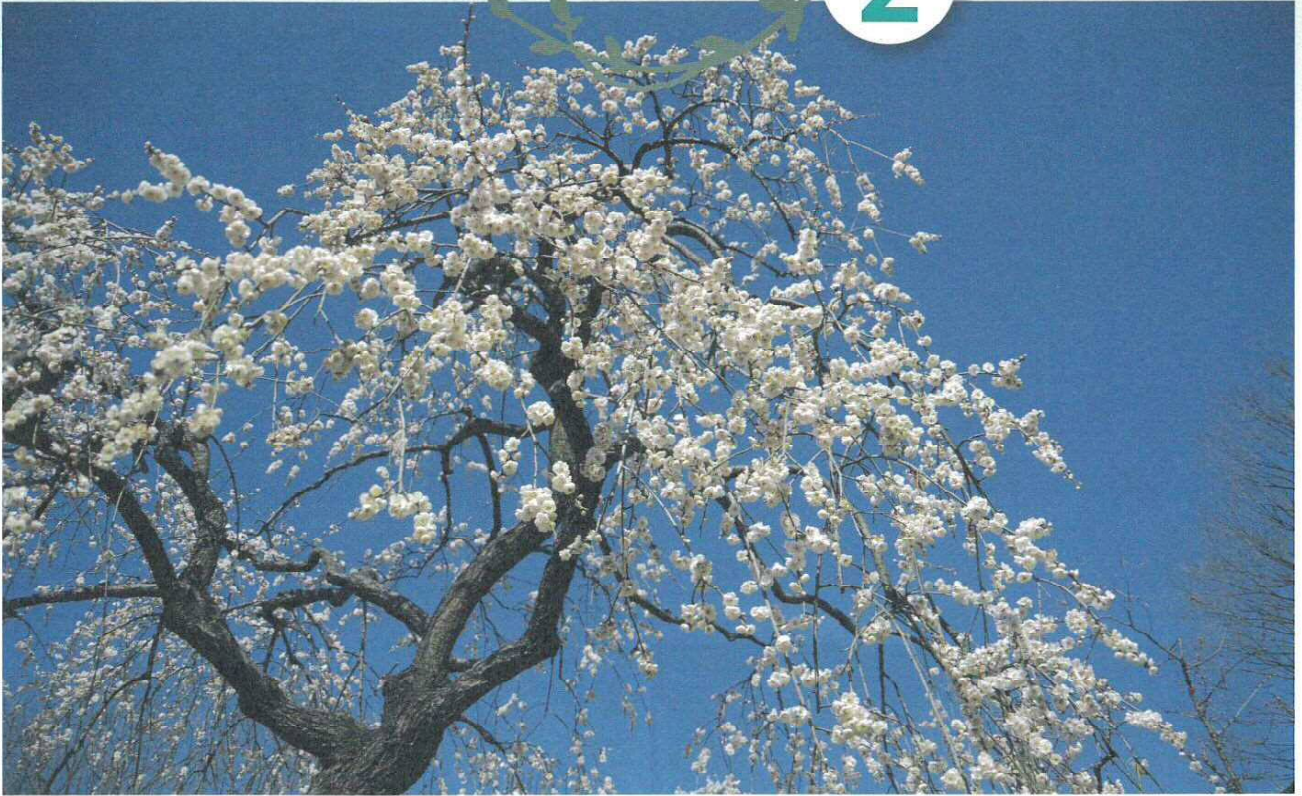
〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



令和2年
2月号

暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



今月の予定

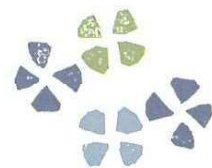
2月

- 2日(日) 午後2時 城東ブロック会間法会
場所:本八幡・うえだ別館
- 8日(土) 午後6時 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く
法話:大谷最高顧問
- 19日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 20日(木) 午後1時半 『歎異抄』に聞く
講師:宗 正元師
- 22日(土) 午後1時半 定例間法会
- 23日(日) 午後2時 城南ブロック会間法会
場所:目黒さつき会館
- 25日(火) 午後7時 仏教青年会座談会
- 28日(金) 午後3時 総代会
- 29日(土) 午後2時 評議員会定例役員会

3月

- 4日(水) 午前10時 仏具磨き
- 7日(土) 午後1時半 定例間法会
- 8日(日) 午後2時 城北ブロック会間法会
場所:王子北とぴあ
- 8日(日) 午後2時 燈虹塾セミナー
- 10日(日) 仏教青年会レクレーション
- 11日(水) 午後1時半 婦人会間法会

※ 2月、3月の青年会は予定が変更する
かもしれません。詳しくは寺務所にお問
い合わせください。



2月の山門の言葉

困っているのは あなたではありません。
困っているのは 周りの人たちです。

えこおファイル在庫あります。

年を取ると、聞き取る能力がだめになりひどい状態になってきました。

テレビのボリュームもいつぱいまで上げて、テレビ全体が響いています。

家族との会話も「なんやて？」(大阪弁ですが、「何と言ったの?」の意)の繰り返しで険悪な状態です。

やっと耳鼻咽喉科に行き、補聴器の話を聞きに行きました。その医院に上の言葉が掲示してありました。「ああ! そうだったんだ」とうなずいた事でした。

聞こえにくくなった私の愚痴ばかりで、周りの人たちへ迷惑をおかけしていることなんかも考えておりませんでした。

この世のことを「娑婆」(sahaの音写)と仏教では呼びます。「堪忍土」の意味ですが、「耐え忍んで行く世界」「耐え忍んでもらっている世界」です。さらに仏さまのお心だと教えられています。

「私に限って間違いはない」争いの因はここにある(直枉会法語カレンダー8月)



確かにいつの間にか「今を生きる」のは難しくなってきたと思います。その時、その瞬間を思いきり生きてみたい。でも知らぬ間に後先を考え人と比べています。意識して変えられるのかわからないけれど、もう少し私の「今」、家族の「今」の瞬間を大切にしていきたいです。

(30代女性 専業主婦)



私は
こう聞いた!!

一月に掲げた山門の言葉
「いかなる昨日より
今日が尊い」

「両瀬正男師」
を皆さんはどう聞いたのが、
お尋ねしました。



同僚と飲むと仕事のグチがよく出ます。過去に囚われてると感じる中で、この言葉にハッとさせられた。(40代男性 会社員)



レオナルド・ダ・ヴィンチの言葉「幸運の女神には前髪しかない」を思い出します。チャンスが訪れるのは今であって、過去にチャンスは訪れません。ですので今を見続けるという点は共感します。

(40代女性 自営業)



今回は今年56年ぶりに東京で開催されるオリンピックの中心会場であり、2016年に着工し、昨年竣工した国立競技場(オリンピック中はオリンピックスタジアム)と、向かいにある日本オリンピックミュージアムへ行ってきました。約半年後にせまったオリンピックを前に、競技場周辺は急ピッチで整備され、観光客や修学旅行の学生たちでにわかに盛り上がっていました。



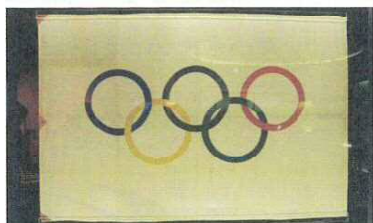
オリンピックといえばこのシンボル。もとはこの5色が入った国旗の国が参加していたそうです。第1回は14カ国でしたが、今では206カ国が参加しているそうです。



今回のオリンピックの聖火を運ぶトーチです。手前がオリンピックで奥がパラリンピックです。



ミュージアム2階には歴代のトーチが展示されていました。



前回の東京オリンピックで掲げられた旗です。



前回の東京オリンピックのロゴと今回のロゴです。昔のロゴは「東京」より「日本」を前面に出しているように感じました。



展示場では、実際に使用されているハンマーや円盤、やり、砲丸がありました。手にしてみると想像以上の重さに驚きました。



以前の国立競技場(国立霞ヶ丘陸上競技場)です。明治神宮の管理所有に所属していましたが、1956年、文部省に移管されました。



ミュージアムの外には、前回の東京大会の聖火台(4分の3スケール)。



1972年、冬季札幌オリンピックの聖火台(4分の3スケール)。



1998年、冬季長野オリンピックの聖火台(2分の1スケール)。



嘉納治五郎 講道館柔道の創始者。日本のスポーツ発展に尽力され、1940年の東京オリンピック(日中戦争により返上)招致を成功されました。

展示場では、オリンピックの起源の説明がありました。それによるとオリンピックはゼウス神を祭る聖なる祭典であり、血を流すことは禁じられていました。5日間の祭典期間を含む3か月間は「エケケイリア(聖なる休戦)」という期間が設けられたそうです。要するに、オリンピックは元来平和を願う人々によって始められた祭典であるようです。いつの間にか、その根本の願いよりも自国開催を願い、経済効果を期待することが主になっているのではないのでしょうか。今回の取材を通して、あらためてオリンピックに何が願われているのかを考える縁となりました。

国立競技場

(東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号)



新しくなった国立競技場。スケールの大きさに圧倒されます。

新体制誕生

西徳寺 副住職就任 山崎 哲^{ひろし}

(令和2年3月1日付け)【任期4年】

令和元年12月17日3:00～ 責任役員会議及び門徒総代会議において、西徳寺副住職に山崎 哲が、顧問会の推薦を受け、上記会議にて満場一致で選定されました。(令和2年3月1日付け)【任期4年】

併せて、同上会議にて西徳寺住職任期満了(令和2年2月1日)に伴う審議を頂き、再任を議決されました。(令和2年2月1日付け)【任期4年】

付きましては令和2年3月より、住職(特別職)脇阪 義幸・副住職(寺務執行役員)山崎 哲・顧問(特別職)大谷 義博の新体制で西徳寺の寺務執行機関として、一層職員相互の連携を強化し、運営組織の各機関と密に協議を重ね、門徒自治運営の寺院として、さらに活性化に力を入れて充実した「聞法会」「諸事業」等の寺門運営に努めて参ります。門信徒皆様方の一層のご協力とご助力をお願い申し上げます。

住職 脇阪 義幸



副住職 紹介

氏名 山崎 哲^{ひろし} 【平成12年4月1日 採用 19年間奉職】

- ◎ 生年月日 昭和49年3月7日生(45歳)
- ◎ 所属寺院 西徳寺
- ◎ 僧侶資格 平成元年3月27日 得度 [法名 釋 哲信]
- ◎ 教師 平成15年9月16日
- ◎ 布教使 平成19年7月10日
- ◎ 安居懸席(住職資格) 第1回 平成14年・第2回 平成15年・第3回 平成16年
- ◎ 住職研修 平成17年2月25日終了
- ◎ 最終学歴 駒澤大学大学院 修士課程修了 仏教学専攻



副住職 ご挨拶

このたび副住職の職を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。

お寺とは社会と一線を画する場であります。昨今、多様性や自由主義、個人尊重が叫ばれる反面、孤独や無関心に傷つき苦しんでいる方々が多いと感じます。一線を画するとは、社会に蔓延するそんな矛盾をそのまま受け止めるという意味であります。

そういう意味で、「声なき声を聞くお寺」ということは勿論、まずもって皆様(ご門徒)にとって「本音がいえるお寺」でありたいと思います。誰もが気軽に門をくぐり、語り合い、共に考える、そんなオアシスの様な場を拓いて行きたいと思っております。

改めて、西徳寺が皆様にとって「私のお寺」といえるよう粉骨砕身精進して参ります。どうぞ宜しく、ご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

山崎 哲



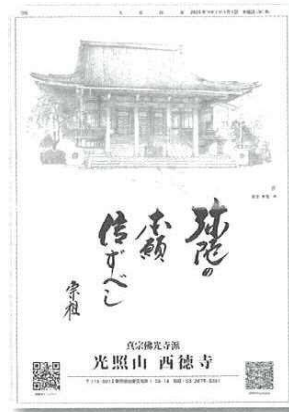
安住先生プロフィール

今年の文化時報社出版の年始号にて、鉛筆画家の安住孝史先生が描かれた西徳寺本堂を巻頭グラビアとして掲載いたしました。

こちらの画は西徳寺本館1階、「星月の間」にて展示しております。お参りの際は是非ご覧になってください。

鉛筆画家 安住孝史

- 1937年 東京下谷、金杉に生まれる
- 1948年 疎開先より浅草千束町金美館通りに戻る
画家を志しアルバイトをしながら絵を描き続ける
- 1970年 銀座中林画廊にて初個展 芸術新潮に取り上げられる
以後 東京アメリカンクラブ、大阪瀧川画廊その他で個展多数
- 1999年 丸善、丸の内本店にて東京を描く「画家たち展」に毎年参加
- 2019年 日経新聞電子版にて画と文章を毎月掲載



著作

「鉛筆画の世界」(東京堂出版) 「東京夜の街角」(河出書房新社)
「東京・昭和のおもかげ」(日貿出版社) その他、著作多数

現在 北区在住 北区鉛筆画講師 悠美会国際美術展 理事



カレンダーのことば

令和2年2月号

死は生の延長線にあらず
いまここに
足下

生きていくものにとって「死」は未来。

しかしこの身は必ず死に帰す。

その事実是谁においても足下にある。生まれたその時からいずれは死ぬ身を生きてきたはず。だけでも、そのいのちの事実にとってもじやないが素直になれない。

誰でも死にたくないし生きていたいと思うのは当然だけど、いのちの事実には逆らえそうもない。では足下(いまここ)をどう生きればいいのか？ 「死」が初めて生きることに緊張感を与え、生きる意義を問わせる。

もし桜が散らないのであれば愛でる人はいないだろう。散ることが約束されているからこそ、咲き誇る足下(いまここ)が愛おしい。

(山崎 哲)

燈虹塾報告・セミナーのご案内

1月11日(土)、第8回燈虹塾を開催。今回は立教大学名誉教授の渡辺憲司先生をお迎えし、「江戸吉原と地方遊郭—その光と陰—」というテーマでご講演頂いた。軽快で笑いの絶えない雰囲気の中に、全国各地の遊郭にも明と暗の両面があるが、後生の方々がそれをそのまま受け止め、影ではなく「お陰」として大切にされていることを教えて頂いた。

「人々の営みを明暗という価値観だけでは見ることはできない」ということを再確認させて頂きながら、渡辺先生、燈虹塾の日比谷氏・不破氏・望月氏のパネルディスカッションでの交流は更に意義深いものを感じさせて頂いた。
(燈虹塾事務局長 山崎 哲)

セミナーご案内

3月8日(日) 14:00~16:00

テーマ 「江戸町一丁目 半籬交(はんまがきまじり) 和泉屋平左衛門七十年の歴史」

講演 日比谷 孟俊(燈虹塾代表)

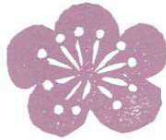
参加費 1,000円

要予約 ☎03-3875-3351(山崎/高橋)

えこお志お礼

岡山県 正覚寺 様
新潟県 瑞林寺 様

ご浄財を頂戴いたしまして
ありがとうございます。
ご芳名の掲載をもって
お礼とさせていただきます。



おみがきのお誘い

今回、評議員会活動の一環として、皆様とご一緒に仏具磨き・本堂清掃を行いたいと思います。春のお彼岸を、綺麗になったお荘厳でお迎えしましょう。

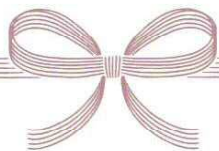
尚、昼食のご用意もありますので、ご門徒様同士の懇親を図る機会にもなるかと思えます。ご都合の付く方は是非ご参加ください。

日時：令和2年3月4日(水) 午前10時～

服装：動きやすく汚れても構わない服装でお越しください。

申込み方法：03-3875-3351 (寺務所)までご連絡下さい。

西徳寺住職 脇阪義幸 評議員会会長 竹内乾一郎



Relation ～縁～

Relation：関係、関連、結びつき

先月11日、我が家に第2子となる長女が誕生しました。予定日より2週間早く生まれたため、標準体重より少し小さく心配しましたが、大きな声を上げる娘の姿を見て安心しました。誰とも比べることのできないかけがえのない命をいただいて生まれてきたはずなのに、私はというと「うちの子が一番!」「長男よりミルクを飲むのが上手」など他と比べてばかりです。生まれたばかりの子に自分のお粗末な姿を言い当てられた気がします。我が子に私のありさまを教えられながら、共に成長していければと思います。

(蓮井 邦宗 記)



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook